



【令和8年を迎えて】

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。保護者、地域の皆様方におかれましては、何かとご支援をいただき心より感謝申し上げます。本年も引き続き教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。そして新しい年、たくましく育つ子どもたちの成長を共に喜べる1年になることを願っております。



【3年 薬物乱用防止教室 12月16日】

12月16日(火)、京都府伏見警察署より
スクールサポーターをお招きし、薬物が人
生に与える影響について考えました。

説明を一生懸命聞く姿や、クイズや質問に
積極的に答える姿が見られました。また、
代表生徒に薬物をすすめられた



時にどのように断るかという実演もしてもらいました。今後の人生におい
て、正しい知識を身に付けて、自分自身を大切にしたいと思います。

【2年 防煙教室 12月12日】

NPO法人タバコフリー京都より講師をお招きし、
喫煙が人生に与える影響について考えました。

説明を聞いた後は、ブースごとに体験をしたり、
クイズに答えたりして、理解を深めました。



また、喫煙を誘われたときどうするか、川柳づくりを通して考え、
学習したことをもとに、よく考えられた作品がたくさんみられました。
今後の人生において、強い意志を持って生活してほしいと思います。

【税の作文 表彰式 12月17日】

12月17日(水)呉竹文化センターにおいて、「税の作文」の表彰式がありました。

本校からは3年女子1名が受賞しました。日本の税制について考え、課題や意見を
表現できる姿勢をこれからも培ってほしいと思います。おめでとうございます。

3年 山田 凜香さん 「伏見納税貯蓄組合連合会奨励賞」(題:税金とわたしたちの生活)



【3年人権学活 12月11日】

人権月間であるこの12月に人権学習を行いました。今年は「様々な差別」
というテーマで就職差別や同和・部落差別、結婚差別などあらゆる差別に
ついて学習しました。学習を通して、しっかりと正しい知識を持ち、差別や
偏見を見抜く素地を養いました。中学校を卒業後、将来社会に出ていく1人
としてどのような行動をとるべきなのか、自分事として考える人権学習になりました。



1月の主な行事

- 1月7日 3学期始業式(午前中)
- 9日 6限避難訓練
- 13日 預り金振替日
- 15・16日 3年総括テスト
- 16日 2月分給食予約締切
- 21・22日 1・2年学習確認プログラム
- 22日 3年面接練習
(1・2年は14:20下校)
- 23日 代表専門委員会(3年最終)
- 27日 1年いけばな教室

2月の主な行事

- 2月5日 代表専門委員会(1・2年)
- 10~12日 私学入試
- 13日 3月分給食予約締切
- 16~17日 公立前期選抜学力検査
- 18~20日 1・2年第4回総括テスト
- 19日 3年生思春期教室
- 24日 公立前期選抜合格発表

【洛水中学校区小中一貫教育校創設における3校PTAの取組】

洛水中学校PTAからお知らせの「小中一貫教育校創設に向けたPTA学習会」が横大路小学校(11月)及び納所小学校(10月)で開催されました。学習会では、PTA案として、①通学において、児童の市バス通学となる対象エリアが提示(横大路学区:国道1号線の東側/納所学区:全域)され、また、②給食において、開校時(令和13年4月)、小学校では自校調理方式、中学校では給食センター方式による給食(令和10年2学期から開始)が実施されているが、小中一貫教育校は前期課程(1～6年)のための給食室を整備するため、これまでの施設一体型の小中一貫教育校と同様に後期課程(7～9年)も「自校調理方式による給食」とする方向が示されています。今後、3校によるPTA代表者会が通学及び給食のPTA案をまとめられます。ご意見などありましたら、学校までお寄せください。

【新入生体験入学 12月7日+給食試食会】

12月4日午後から納所小・横大路小の6年生児童をお招きして、体験授業や部活動見学をしてもらいました。

保護者の方には給食試食会で給食の献立や申込みの内容について、また引き続き保護者説明会で洛水中学校の教育課程や行事内容、学校生活にかかる経費について説明いたしました。子どもたちはまず、英語・理科・数学・保健体育の教科に分かれて、それぞれの担当の教師が主体的に学ぶことを意識した授業で、中学校の学習のことを少し理解してくれたと思います。また、部活動見学や生徒会のオリエンテーションなどで、少しは中学校生活を感じてくれたのではないのでしょうか。部活動も是非入部してほしいと思います。来年度入学されることをお待ちしております。



【2年 人権学活 12月9・11日】

12月9日(火)・11日(木)に人権学習を行いました。2年生では「外国人との共生」をテーマに、在日韓国・朝鮮の方との歴史や文化、その方たちに対して現在日本で起きている差別をとりあげ、異なる背景を持つ人々への理解と尊重を深めることを目的に学習を行いました。韓国といえば好きなアーティストやグループがいる生徒も多い中、在日の方たちの存在や、その方たちに対する差別があることを初めて知った生徒もあり、「正しい知識や正しい判断が必要である」等とふり返り、相手を知り、理解することの大切さを感じている生徒もいました。また、親友から韓国籍であることを打ち明けられ、それに対してどのような言葉を返すかロールプレイングを取り入れながら考え、自分自身としっかり向き合いながら、自分なら何と言葉を返すかを考えていました。今回の人権学習を通じて、多くの生徒が他者への理解と共感を深めることができました。



【1年 人権学活 12月6・11日】

1学年では、12月10日(水)と、12月11日(木)の2日間で人権教育を行いました。「障がいがある人とのかかわり」を大きなテーマとして、1時間目は、1つの色でも見方を変えることによって、受け取る印象や意味が変わること、1つの見方だけでは、偏見を生む可能性があることを学びました。2時間目は、パラリンピック選手などの身体的障がいをもつ人が社会で活躍するには、その方々をサポートする人たちがいることを学び、障害を生むのは社会による3つのバリアがあることを学びました。3時間目は、3つのバリアの他に実は、もう1つのバリアがあることを考えました。それは、「心のバリア」であること。このバリアが人々の偏見や差別を生み出してしまう根底になることを知り、自分たちが1つの見方しかしていないか。自分の言葉や行動が知らないところで他人を傷つけていないか。もう一度自分たちの日々の行動や使っている言葉は正しいのかを動画やイラストを通して考えました。本校の目指す生徒像である、「自他への思いやりのある姿」の達成を目指して、1人1人が【心の痛みがわかる人に】なってくれることを願っています。

